

河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成21年度採択テーマ 中間評価結果

テーマ名および概要		提案者名	中間評価コメント
テーマ	石狩川流域における治水事業の評価と氾濫形態の変化に関する研究	北海道大学 木村 一郎	過去、現在についての研究成果が統合されることを期待。また、成果を将来の治水事業のあり方へと結びつけること。
概要	石狩川治水百年を振り返り、急激な流域都市化の下、各種河川事業が氾濫形態に及ぼしてきた変化を多角的視点で検討説明する。		
テーマ	超濁度水発生機構の解明と防止に向けた現地試験および現場での採泥分析を用いた土砂輸送に関する研究	北見工業大学 中山 恵介	SSの流出・流下のメカニズムを明確化する方向で進めること。
概要	畑作地帯を流下する河川における超濁度水の発生機構の解明と、防止に向けた現地試験、および現場での採泥分析による細粒土砂の輸送過程の解明を行う。		
テーマ	渡良瀬川堤防を対象とした堤体内水の常時監視システムによる持続可能な浸透性破壊に対する健全性診断手法の構築	群馬大学 松本 健作	1次診断としての要求事項を満足しているのかを示すとともに、1次診断としての信頼性をメカニズムに関連した調査によってより明確に示すこと。
概要	堤体内水分の観測から、出水等によって堤防の浸透性破壊に対する安全性がどのような変化を示すのかについて検討を行う。		
テーマ	統合システムによる河川堤防の重点強化地点の同定と対策法に関する研究	中部大学 杉井 俊夫	破堤形式と物理探査の関連性を明確化すること。また、降雨によるエアブローの事例を調べること。
概要	物理探査、数値解析、被災履歴の統合システムによる重点強化地点の抽出シナリオと適切な対策・評価技術の提案を行う。		
テーマ	美和ダム排砂バイパスシステムの運用高度化に向けた流砂モニタリング手法の開発	京都大学防災研究所 角 哲也	高度運用のシステムとしての研究成果を明確にすること。
概要	排砂バイパス操作を高度化するための土砂流出予測モデルおよびITVカメラ画像による流速計測と浮遊土砂濃度計測を組み合わせたバイパス効果のモニタリング手法の開発を行う。		
テーマ	矢田川低水路における砂州の挙動・環境機能の解明と自然河岸形成に向けた技術・環境面からの検討	名城大学 溝口 敦子	河道動態が本研究の根幹的な課題であることを意識して進めること。
概要	矢田川低水路内の砂州挙動・環境機能の解明と、環境改善を目指し、自然河岸形成に向け技術・環境面から検討を行う。		

テーマ	誘電率計測手法を用いた非破壊調査・試験方法による河川堤防の維持管理技術の開発に関する研究	岡山大学大学院 竹下 祐二	計測結果を浸透解析に使える物理パラメータにまで変換出来るようにすること。
概要	河川堤防浅層領域の飽和・不飽和地盤特性値を地中レーダや簡便な原位置透水試験装置を用いて、フィールドスケールで迅速に計測評価する調査・試験方法の開発を行う。		
テーマ	ADCP観測および流況解析に基づいた浮子流観データの検証と河川計画への反映に関する研究	高知工業高等専門学校 岡田 将治	浮子流観の精度向上につながる具体的な提案を期待する。
概要	ADCP観測データの精度評価手法の確立とともに、ADCP洪水観測データ、模型実験および流況解析結果に基づいて、河道の横断面形、橋脚等の河川構造物等が流況区間の流況に及ぼす影響を定量的に把握し、浮子流観データの検証手法を提案する。		
テーマ	河川空間における良好な河川景観の形成と保全のための景観形成方針の設計および景観設計等を行うための景観形成手法の確立のための調査研究	九州大学大学院 樋口 明彦	景観形成の戦略指針だけでなく、評価の指針も検討すること。
概要	筑後川久留米地区をモデルとして、民・官・学の連携体制のもとで地域の歴史文化等を考慮し周辺のまちづくりと一体となった河川空間の景観設計手法を開発することをその主目的とする。		

(五十音順、敬称略)